

# ヘルスケアスタートアップ<sup>o</sup>社会実装推進拠点 選定について

公募説明会用資料

# 本日のアジェンダ

1 ご挨拶

2 公募内容の説明

3 質疑応答

# 事業の背景と目的

---

# 1. ヘルスケアスタートアップ実装推進拠点構築の背景

- 国内のヘルスケアスタートアップは、技術実証フィールドの不足と、社会実装の進展に課題があり、拠点を起点とした中長期的な支援体制の構築が必要

## ヘルスケアスタートアップの現状

### ヘルスケア共通の課題

- 日本は世界最高水準の高齢化率を誇り、老化に伴う疾患や生活習慣病への対策が喫緊の課題
- 予防・健康づくり、介護、デジタルサービスを活用した治療的介入、医療業務支援といったヘルスケア領域における新たなサービスの立ち上げが急務

### ヘルスケアスタートアップの課題

- 初期的な実証フェーズにおいては、多くのスタートアップが実証フィールドの探索そのものを手探りでやっているのが実情
- 技術実証や事業性の実証に留まらず、その先の社会実装が進展しないという問題も顕在化

## 支援方針

- ヘルスケアスタートアップが提供する製品・サービスの社会実装に向けて、実証面で支援するコーディネーターや関連する実証フィールドで構成される拠点の整備を進める
- スタートアップに対する継続的な支援を通じた社会課題解決を推進していく

# 1. ヘルスケアスタートアップ実装推進拠点構築の目的

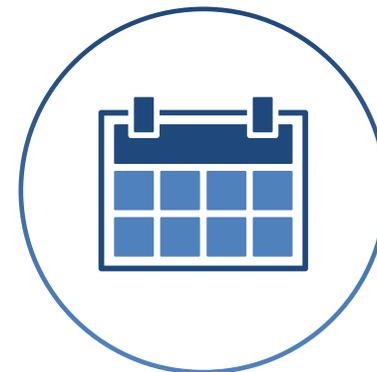
- 我が国の高齢化に伴う健康・医療課題に対処し、国民の健康増進を図る新たなヘルスケアサービスを複数年度の地方拠点の構築の取組を通じて社会に実装する



日本の高齢化に伴う健康・医療・介護課題に対処し、新たなヘルスケアサービスの創出と活性化を支えるエコシステムの確立



地域ごとの特性を活かした実証フィールド（大学、行政機関、医療機関、介護・福祉事業者、民間企業等）との連携を強化し、「顔の見える関係性」と、革新的製品・サービスを受け入れる土壌づくり



拠点の構築は単年度で完了するものではなく、複数年度の取組が必要であり、本年度検証された内容に従って、来年度以降の活動を見直し・推進していくことを想定

# 本日のアジェンダ

1 ご挨拶

2 公募内容の説明

3 質疑応答

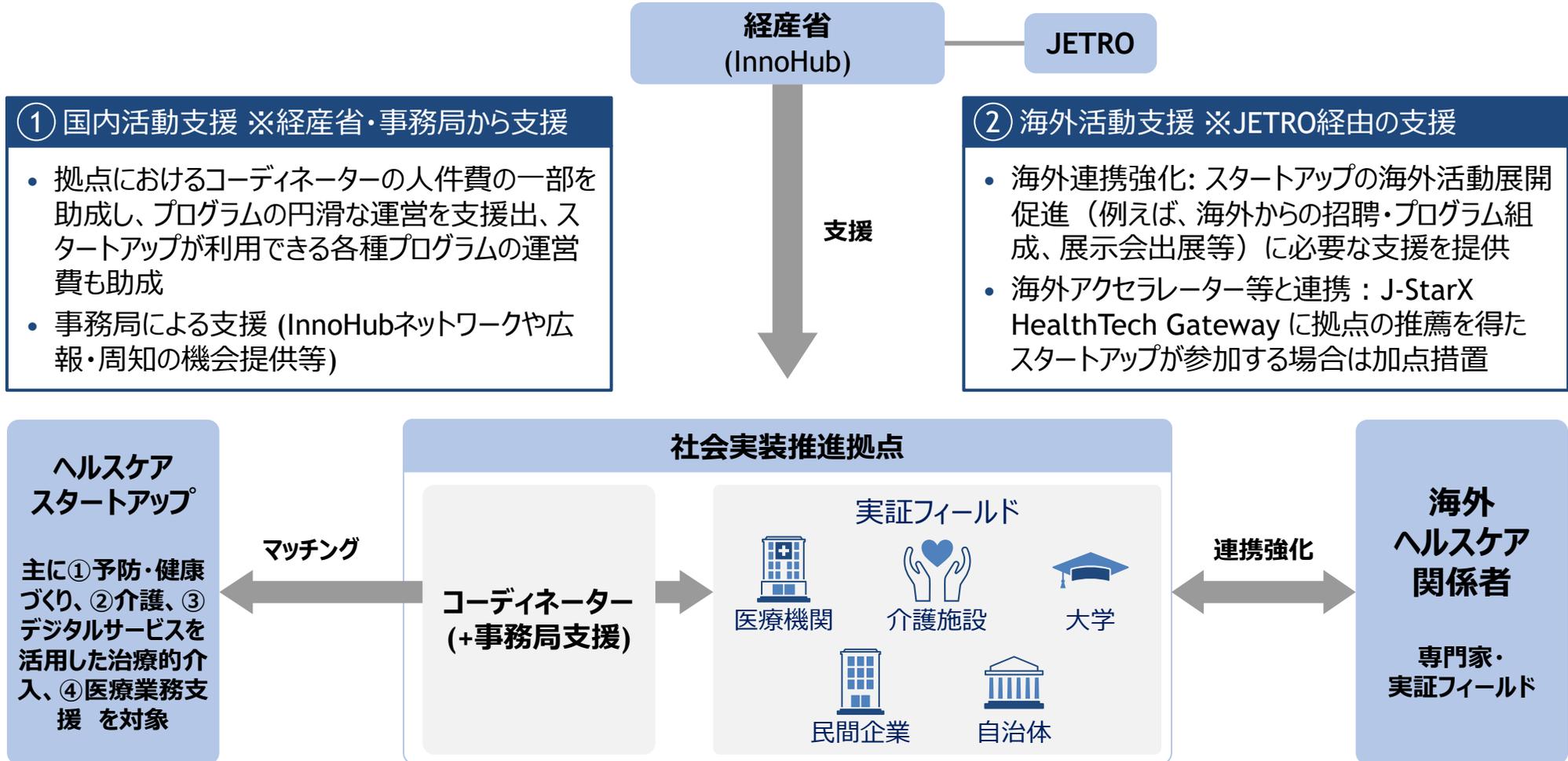
## 活動内容の詳細

---

# ヘルスケアスタートアップ社会実装推進拠点について

- 拠点への支援として、下記2つを提供を想定

- ① 国内活動支援 (拠点のコーディネーターの person 費、InnoHubネットワーク提供 等)
- ② 海外活動支援 (海外有識者の招聘、海外実証フィールドとの連携 等) ※拠点による選択制



# 活動内容

- 採択された地域は、今後複数年にわたる社会実装推進拠点の構築を目指し、本年度を準備・実証フェーズと位置付け以下を実施

## 応募



- 拠点が何を提供できるのか、提供価値のスタートアップへの魅力度について仮説構築
- 成功指標とタイムラインを含めたロードマップを提示

## 準備期間



- 応募時のロードマップを基に、拠点の方向性や、スタートアップへの提供価値の仮説を検証

## ロードマップ アップデート



- 検証結果に基づいたロードマップのアップデート
- 提供価値の見直しや、ヘルスケア領域の特定のステージやカテゴリといった支援対象を明確化

## 支援活動 展開



- 支援内容、体制、来年度以降の本格構築フェーズの詳細な計画を策定
- 来年度以降はこの計画に基づき、具体的な支援活動を展開

令和6年度：準備・実証フェーズ

## 2-(2) 公募要件 (i) 必須項目

- 選定プロセスは、基礎点となる要件を満たしているかを評価した上で、加点項目を評価し、外部有識者の助言を勘案した上、採択案件を決定

### (i) 必須項目 (基礎点)

① コンセプトの 明確化	<p>推進拠点がスタートアップに対して提供する価値や特徴について明確化し、提供価値のスタートアップへの魅力度について仮説を構築</p> <p>当該拠点が対象とするヘルスケア領域におけるカテゴリについても併せて明文化</p>
② 目標設定	<p>事業実施期間（令和6年度から令和9年度までの期間を指す）において、推進拠点における具体的かつ達成可能な目標・KPI設定</p>
③ 活動計画	<p>事業期間の具体的な取組内容と実現可能性を示し、全体の詳細な行動計画、タイムライン、ステークホルダー、リソース分配、期待成果物を提示</p>
④ 連携体制	<p>拠点を推進する主体及び当該主体と連携する医療機関、学術機関、民間企業等のステークホルダーからなる協力枠組み及び各ステークホルダーの既存の取組・実績を説明</p>
⑤ 資本計画	<p>継続的に推進拠点としての機能を果たしていくための資本計画を提示</p>
⑥ 支援実績	<p>推進拠点の中核を担う主体について、これまでのスタートアップに対する支援実績を記載 特にこれまでの活動の中で重点的に支援を行ったスタートアップについて10社程度記載</p>

## 2-(2) 公募要件 (ii) 加点項目

- 選定プロセスは、基礎点となる要件を満たしているかを評価した上で、加点項目を評価し、外部有識者の助言を勘案した上、採択案件を決定

### (i) 加点項目

① コンセプトの 明確度合い	必須項目①に加え、拠点が持つ独自のリソースやネットワークを活用してスタートアップの成長をどのように支援するか、その具体的な方法を記載し、過去の支援実績に基づいた説得力あるアプローチや、ベンチマーク事例から得られる示唆
② 拠点広範的 影響	必須項目②で述べた提案目標が地域社会に持続的かつ広範な影響を与える可能性を説明
③ 計画の独自 性・実現性	必須項目③で述べた計画において、独自性や実現可能性が高い内容を提示
④ 連携体制	必須項目④で述べた協力が持続可能なパートナーシップに繋がる可能性を説明 また、地域外のステークホルダーも含めたグローバル市場進出の考慮を提示
⑤ 資本計画	必須項目⑤で述べた資本計画に納得性のある根拠を記載
⑥ 支援実績	必須項目⑥で述べた実績に特に顕著な貢献の具体例を記載 例えば、拠点の支援を契機としたプロダクト・サービスの上市、アップラウンド、IPO・M&Aの事例等

## 2-(3) 応募資格 (一部抜粋)

- 公募に応募できる事業者は、地域においてスタートアップ企業やアカデミアとの連携を促進し、エビデンス構築や実証フィールドの提供を円滑に進める役割を担う事業者とし、業種は問わない
- 本事業は、実証フィールドとの密な連携を前提にすることから、公募する主体は、複数の事業者・自治体・研究機関等がコンソーシアムとして応募することを要件とする
- 本事務局との契約締結主体になることができ、かつ、契約期間終了後の一括精算に耐え得ること

### コンソーシアムの代表事業者・参加事業者、並びに協力団体の関係

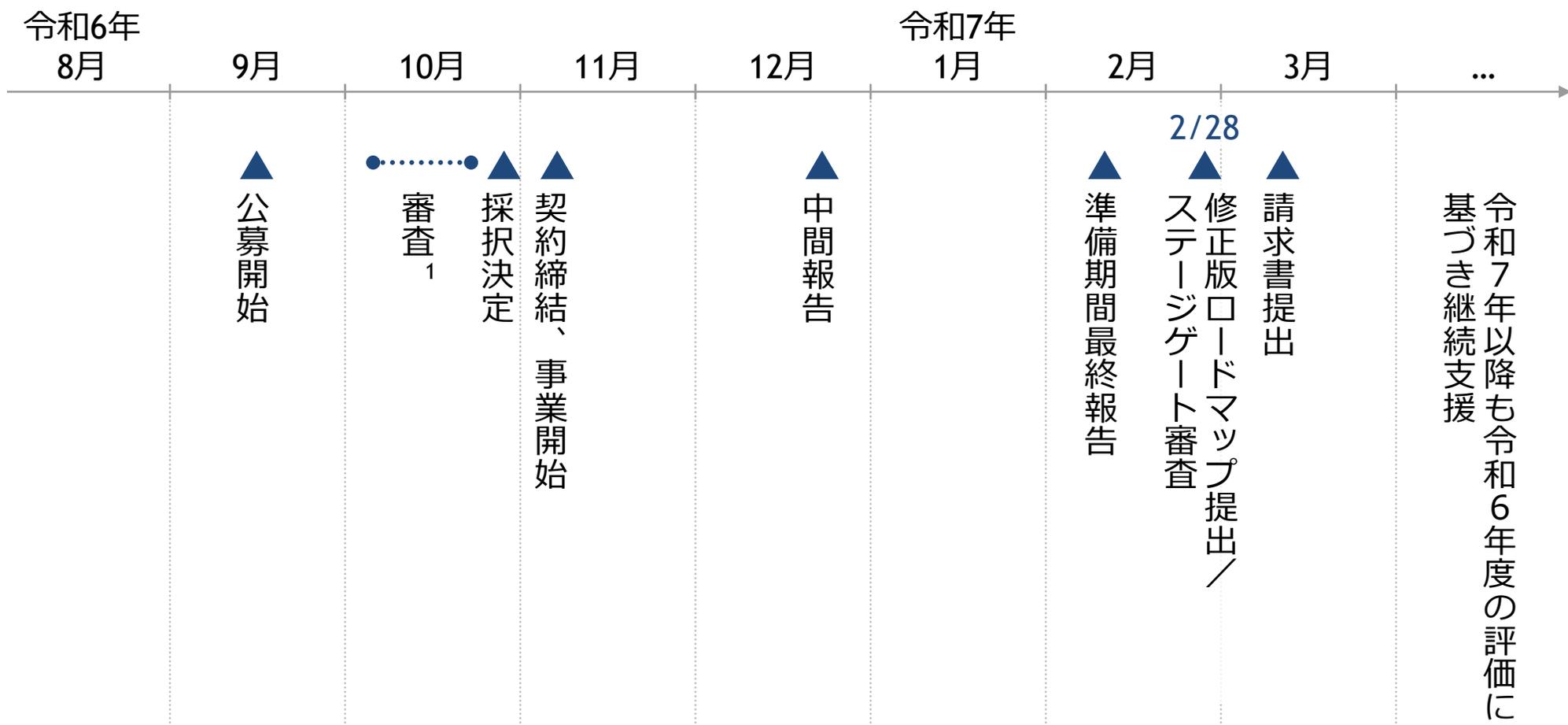
#### コンソーシアム (契約締結主体)

代表事業者：スタートアップに対する支援実績のある法人格を有する団体  
総括事業代表者（プロジェクトリーダー）、副総括事業代表者（サブリーダー）、事務管理責任者を選出



協力事業者：民間事業者・自治体・研究機関等  
コンソーシアム構成員として、代表事業者の管理下において、実証事業等の一部に協力

## 2-(4) 事業期間と事業終了までの主な流れ

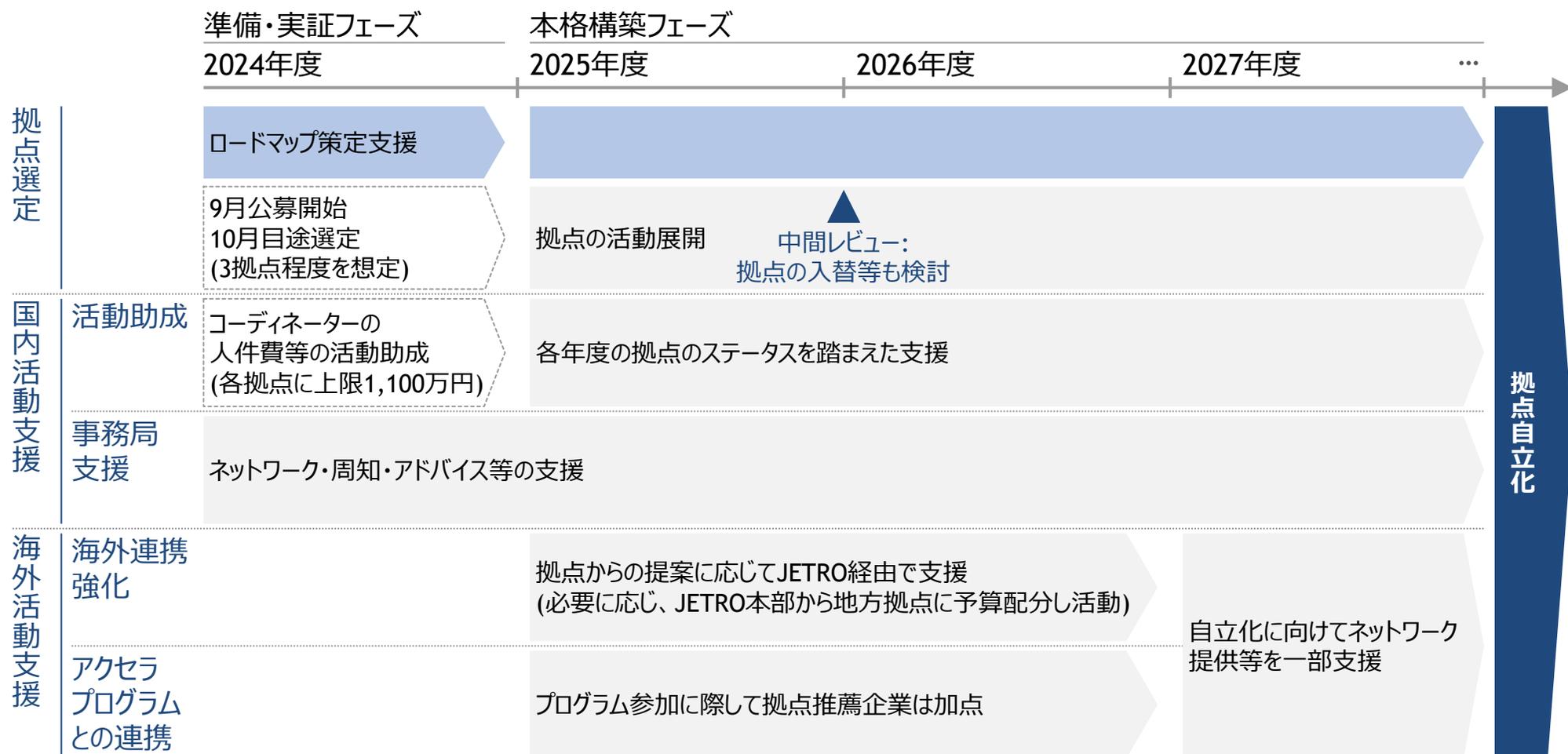


上記以外に経済産業省の主催するイベント等への参加を依頼する可能性もある

1. 審査の過程で必要に応じてヒアリングを行う場合がある

## 2-(4) 来年度以降のスケジュール

- 本年度は拠点選定を行い、準備・実証フェーズとして拠点の立ち上がりを支援。その後2027年度までを本格構築フェーズとして継続支援。尚、2025年度末を目途にレビュー実施 (ステージゲート方式)



## 2-(5) 提供可能な支援 その1

- 公募採択後、来年度以降<sup>1</sup>は経済産業省より拠点事業の支援を受けることができ、応募時のロードマップ・計画にも組込可能

	支援内容	詳細
国内	活動助成 	<ul style="list-style-type: none"><li>● 拠点におけるコーディネーターの person 費の一部を助成し、円滑な運営を支援</li><li>● 拠点の運営管理、スタートアップの課題や実証フィールドに関する調査の設計・実施・調整、プログラム運営費などを対象とする（後述）</li></ul>
	事務局支援 	<ul style="list-style-type: none"><li>● 推進拠点に係る事業を行う事務局（令和6年度はBCG）との連携により、InnoHub等が有するネットワークや広報・周知の機会を提供</li><li>● 要望に応じて、ヘルスケア領域のエキスパート等による助言を行うことも検討</li></ul>
海外	海外連携強化 	<ul style="list-style-type: none"><li>● 推進拠点がスタートアップの海外活動展開を促進（例えば、海外からの招聘・プログラム組成、展示会出展等）するに際して、JETROを通じて必要な支援を提供</li></ul>
	海外アクセラレーションプログラム連携 	<ul style="list-style-type: none"><li>● JETROが提供するヘルスケアスタートアップの海外展開支援に特化したプログラムである「J-StarX HealthTech Gateway」に、選定された拠点の推薦を得たスタートアップが参加する場合は一定程度の加算</li></ul>

1. 令和7年度以降の計画として、応募時のロードマップに組み込んでいただける。今年度は準備・実証フェーズのため、InnoHubとの連携のみ提供可能

## 2-(5) 提供可能な支援 その2



予算

1件当たり上限**1,100万円** (税込)

※本年度は提案された事業内容等を精査し、最終決定。  
令和7年度以降は、令和6年度で検証された内容に従って、予算状況を踏まえて変更しうる



採択件数

**3件**を想定

### 3. 実施主体・実施体制

- 経済産業省より、令和6年度は「ヘルスケア産業基盤行動か推進事業（ヘルスケアビジネス創出推進事業）」の一環として、本事業を事務局が受託している



経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

- 本事業の総括および監督を行い、政策的な方向性を提示
- 必要な資源の配分や予算の管理を担当
- 事業全体の進捗状況をモニタリングし、重要な決定

報告 ↑ ↓ 委託

事務局  
(令和6年度はBCG)

- 審査プロセスを含む実施体制の運営管理及び支援活動の調整
- 各フェーズの結果を検証し、次年度以降の政策への示唆を抽出
- InnoHubを通じたステークホルダー間の連携促進、ネットワーキング機会提供

報告 ↑ ↓ 委託・実施支援

コンソーシアム

- 拠点地域におけるスタートアップの支援
- 事務局との連携

# 応募方法

---

# 応募方法

- 必要書類を、期限までにメールにて提出することで応募

## 提出書類

### 提案書



### 支出計画

区分	内容	金額 (円)	備考
1. 人員費		5,950,000	
	初年度委託費	5,950,000	500,000 × 10 期間 × 1,190,000
	経費補助金	0	500,000 × 10 期間 × 1,190,000
	経費	0	500,000 × 10 期間 × 1,190,000
2. 事業費		4,371,000	
	システム構築費	5,450,000	500,000 × 10 期間 × 1,190,000
	システム構築費	5,450,000	500,000 × 10 期間 × 1,190,000
	ハードウェア費	400,000	400,000 × 10 期間 × 1,190,000
	ソフトウェア費	400,000	400,000 × 10 期間 × 1,190,000
	初年度委託費	771,400	500,000 × 10 期間 × 1,190,000
	初年度委託費	400,000	400,000 × 10 期間 × 1,190,000
	初年度委託費	400,000	400,000 × 10 期間 × 1,190,000
	経費	100,000	100,000 × 10 期間 × 1,190,000
	経費	100,000	100,000 × 10 期間 × 1,190,000
3. 経費 (雑費)		5,950,000	
	経費・雑費	5,950,000	500,000 × 10 期間 × 1,190,000
	経費	5,950,000	500,000 × 10 期間 × 1,190,000
	経費	5,950,000	500,000 × 10 期間 × 1,190,000
4. 一般管理費		700,000	100,000 × 10 期間 × 1,190,000
5. その他		10,000,000	100,000 × 10 期間 × 1,190,000
6. 経費 (雑費)		5,950,000	500,000 × 10 期間 × 1,190,000
7. 経費		10,000,000	100,000 × 10 期間 × 1,190,000

- 所定フォーマットをベースに、必要内容を全て記入
  - 所定フォーマットは推奨であり、フォーマットの修正や他フォーマットの使用も可能
  - 記載内容に応じて、ページを適宜追加可能
- PDF形式に加え、機械判読可能な形式 (PowerPoint, Excel) のファイルも併せて提出

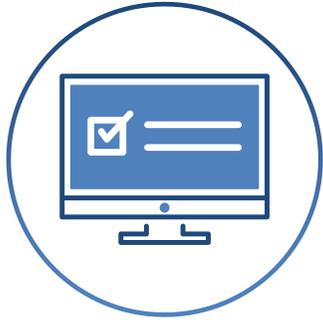
## 提出方法

必要ファイルをメールに添付して提出

- パスワードは設定しない
- 件名は、「(事業者名) ヘルスケアスタートアップ社会実装推進拠点選定」

## 提出先

令和6年10月18日 (金) 16:00までに [TOKInnoHub@bcg.com](mailto:TOKInnoHub@bcg.com) に提出



本日の質疑応答内容や、今後いただく質問の回答は、以下のウェブサイトに掲載いたします。

<https://healthcare-innohub.go.jp>



追加で質問がある際には、上記ウェブサイトを確認した上で、[TOKInnoHub@bcg.com](mailto:TOKInnoHub@bcg.com)までご連絡ください

# 本日のアジェンダ

1 ご挨拶

2 公募内容の説明

3 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。  
皆様からのご応募お待ちしております。